

# 「こころのオルゴール」活用事例紹介 No.1

## ～福岡市立 南片江小学校編～



人権啓発センター(ココロンセンター)

マスコットキャラクター ココロン



福岡市人権啓発センターでは、人権問題を身近に感じていただくため、様々な人権問題をテーマにした5分間のショートストーリー「こころのオルゴール」を制作・放送しています。

「こころのオルゴール」は平成6年度から始まり、今年で32回目になります。当初はラジオ放送のみで公開していましたが、現在は「人権啓発用音源」として、ラジオ放送のみならず、ラジオ放送の音源に字幕を付けた動画を福岡市 YouTube チャンネル（福岡チャンネル）で配信しています。ラジオ放送の時間を問わず、いつでも気軽に触れていただけるようにしているところです。

「こころのオルゴール」を小中学校で活用していただいているというお話を聞き、今回は、福岡市立南片江小学校におじゃましました。（以下、酒井校長先生と人権担当馬場先生への取材をもとに構成。）



## いつ、聞かせているのですか？



12月第1週の福岡市人権尊重週間の期間中の給食時間に、全校の子どもたちに聞かせています。人権尊重週間にちなんで、人権について、しっかりと考えてほしいとの思いからです。（※福岡市人権尊重週間…人権が真に尊重され、差別のない住みよい福岡市の実現に向け、福岡市では12月4日～10日を「福岡市人権尊重週間」と定めている。）

子どもたちにとって、ショートストーリーは耳に残り、心に残るので、中には家に帰って話題にしてくれる子どももいるようです。人権に関することは保護者にも知っていたとき、共に考えていただくことがとても大切です。わずか5分足らずのお話ですが、積み重ねることで心豊かな子どもに育ててほしいと思います。

どの内容にするかについては、人権啓発センターのホームページに掲載されているシナリオをもとに、人権担当の先生たちで検討し、低学年の子どもにもわかりやすく、幅広い人権問題に触れることができるものを選ぶようにしています。今回は、令和3年度と令和6年度の作品を採用しました。



視聴している3年生の子どもたちの様子（R7年12月）

### 2. 人権尊重週間中の取り組みについて

#### 人権に関する詩の音読

題材：「ひとつの言葉」

期間：12月1日（月）～12月12日（金）

#### こころのオルゴール

内容：月「温かい言葉を言える人に」 火「多様性の時代を生きる」  
水「どうしよう、さそう？さそわない？」 木「広がりを見せているアライ」  
金「ネットいじめにならないために」

期間：12月1日（月）～12月5日（金）

※ クラスルームにリンクを貼ります。給食時間に各クラスで聞いてください。  
放送は静かに聞くようご指導ください。

南片江小「人権尊重週間中の取り組みについて」より

音源のデータはあらかじめ、ホームページからダウンロードし、学校のネットワークで共有できるようにしています。当日、子どもたちが給食準備を終えて着席し、聞ける状況になった時にクラスごとに電子黒板（※黒板の横に設置されている大型ディスプレイのこと）に投影し、視聴させています。

「男だから泣くな」「女やけんそんなゲームせんどきい」と言われたことがあるよ。

—子どもたちの感想から—

これは、3年生が「多様せいの時代を生きる」を視聴した時の感想です。このシナリオは、令和5年度福岡市人権尊重作品（作文の部）で入選した小学4年生の作品がもとになっています。子どもたちは聞き終わって次のように話してくれました。

- 男だから女だから関係ない。
- 自分らしく生きればいい。
- そういわれて育った人がそんなふうにするのかも。でも自分たちはちがう。

「ほかのシナリオを聞いてみたい」と言う子もいますので、ラジオやホームページの紹介もしています。

 指導された先生方の声をお聞かせください。



- こころのオルゴールを児童の実態に合わせて流したことで、子どもに人権についてじっくり考えさせる意味でよかった。
- 「先生、今日、こころのオルゴールの日ですよ。」と言って、待っている子どももいます。
- 給食準備が終わって各クラスのペースで静かに聞くことができた。
- こころのオルゴールは多様な視点から人権を考えることができてよかった。

この取り組みを始めて4年目になります。当初は全校放送で流していましたが、聞かせる内容や方法を職員で改善し、今に至っています。これからも継続していけたらと考えています。

取材する前は、「こころのオルゴール」は小学生には難しいのではないかと、思っていました。小学生の人権作文をもとにしたシナリオや、インターネットのいじめに関するシナリオを取り上げていただくなど、身近で、小学生の実態にあった内容を選んでいただいていた。また、ICTを活用し、各クラスでじっくり聞ける環境をつくっておられました。大変参考になる活用事例を提供していただき、ありがとうございました。

みなさんも、子どもたちと同じシナリオを聞いてみませんか？

人権啓発センターのホームページには、過去5年分のシナリオと字幕入り動画を掲載しています。

ぜひご覧ください♪



↓人権啓発センターホームページのURLはこちら

[https://www.city.fukuoka.lg.jp/shimin/jinkenkeihatsu/jinken\\_keihatu\\_center.html](https://www.city.fukuoka.lg.jp/shimin/jinkenkeihatsu/jinken_keihatu_center.html)

↓本文内で紹介した「多様せいの時代を生きる」字幕入り動画はこちら

<https://www.youtube.com/watch?v=7vIGloUiz-w>